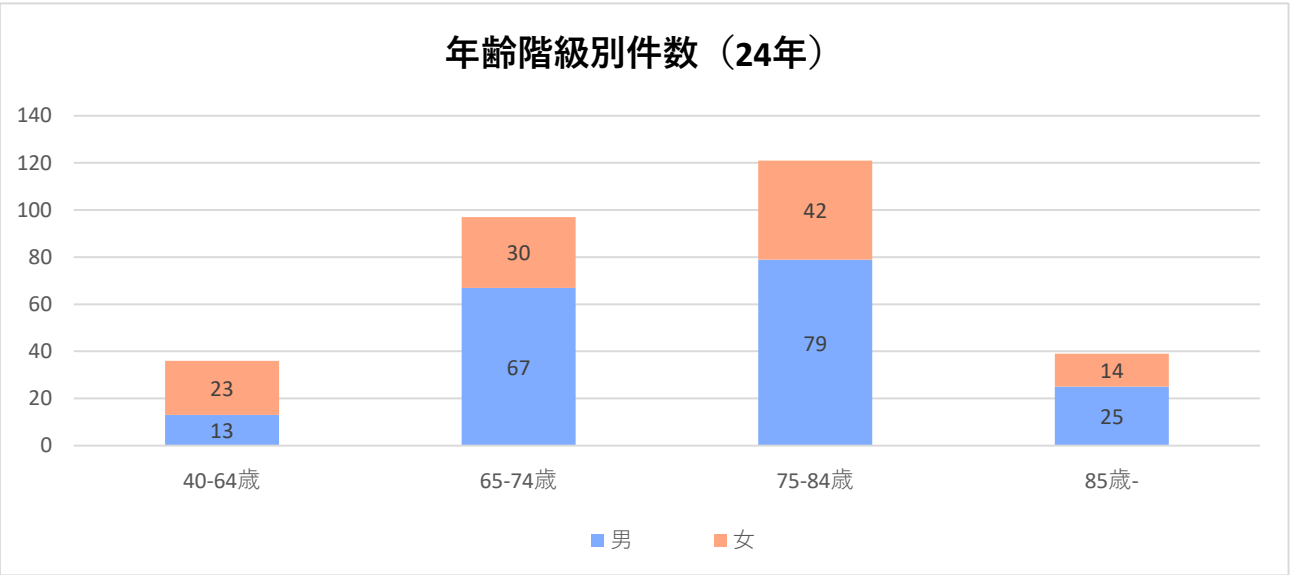
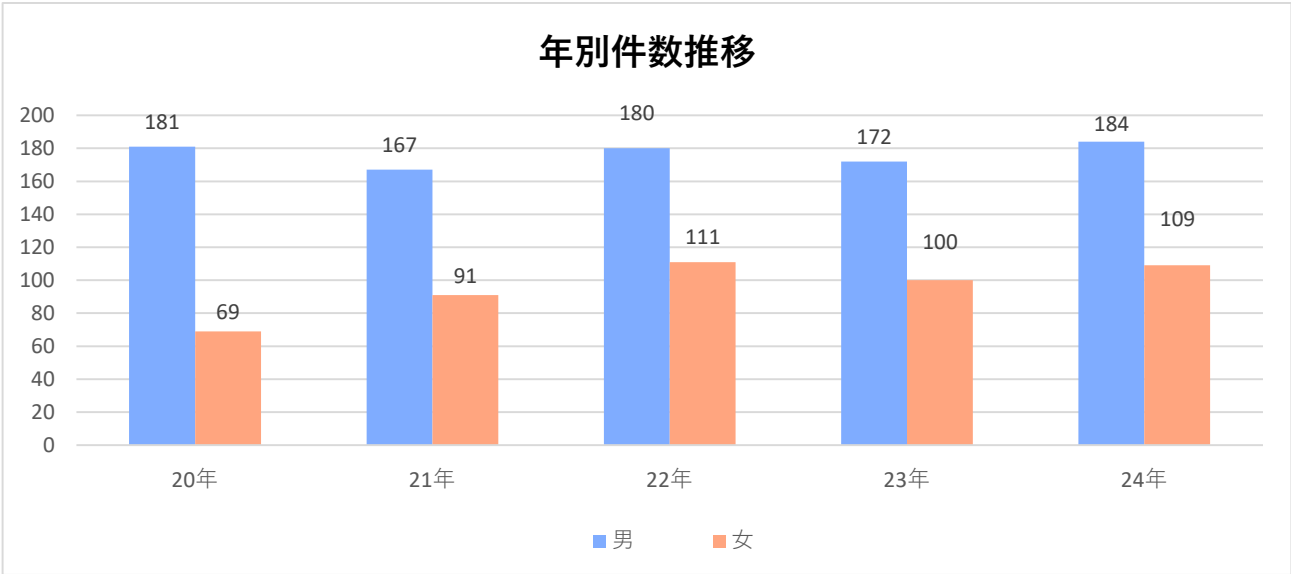


Ⅱ. 2024年集計＜部位別＞

3. 肺

肺に発生したがんを対象に、年別件数推移は直近5年間、年齢階級別件数は24年単年、主な紹介元先は直近5年間でグラフおよび表を作成した。
年別件数推移は男性が180件前後、女性が100件前後で推移している。
年齢階級別件数は75歳-84歳が最も多く、次いで65-74歳が多かった。



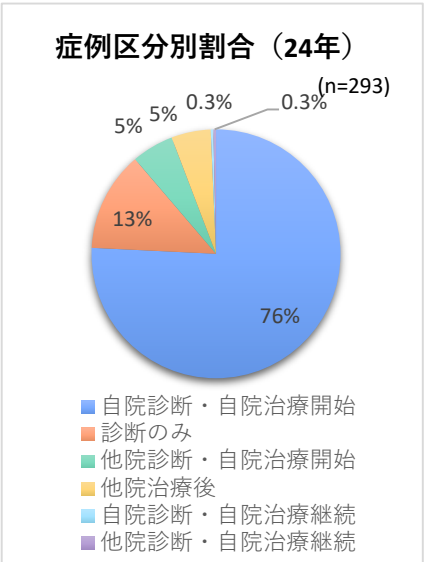
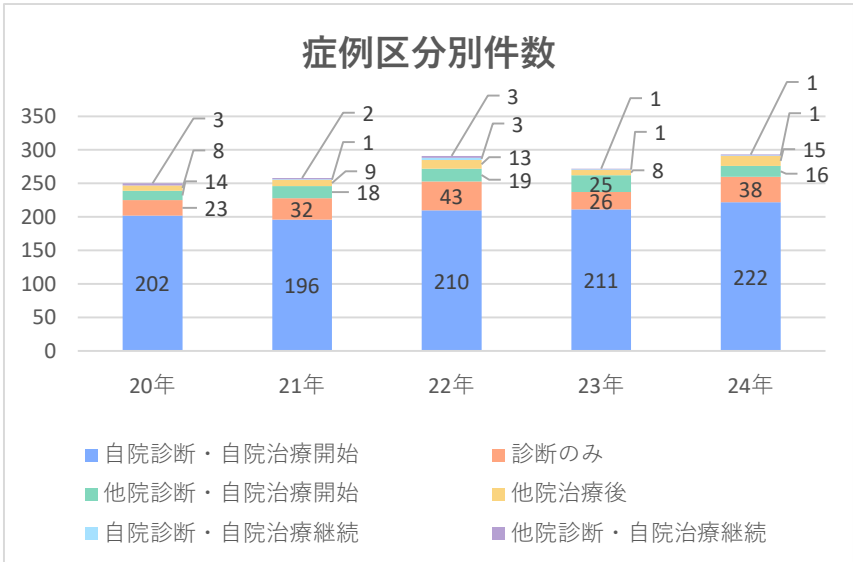
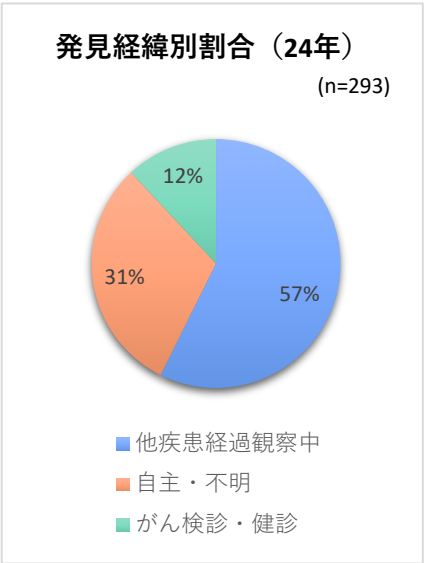
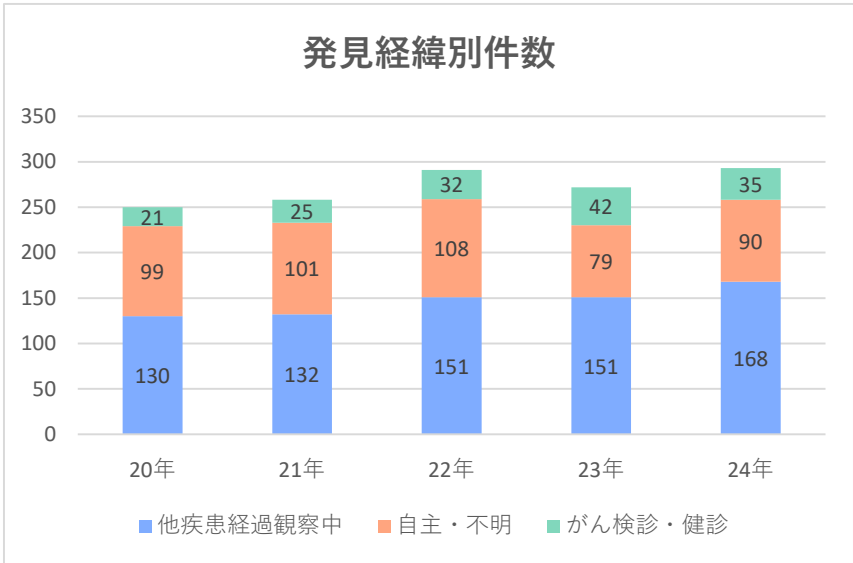
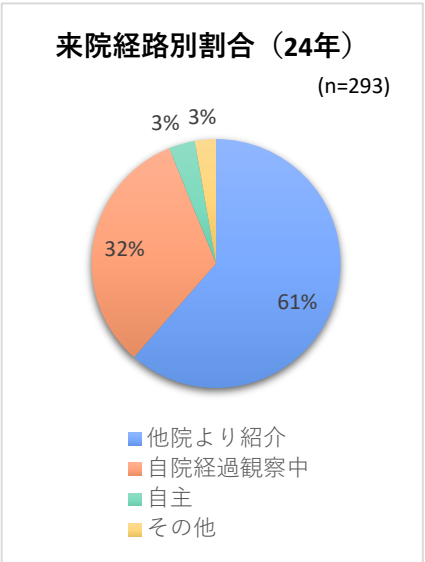
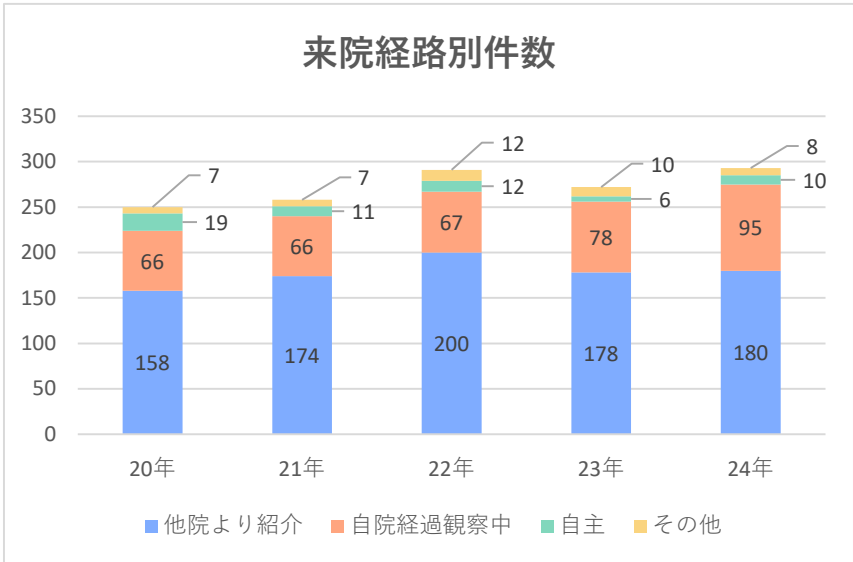
主な紹介元

施設名	20年	21年	22年	23年	24年
小樽市立病院	2	1	6	14	13
石狩病院	13	8	17	11	12
西成病院	6	8	7	5	11
手稲いなづみ病院	11	9	11	10	7
手稲家庭医療クリニック	2	3	4	6	6

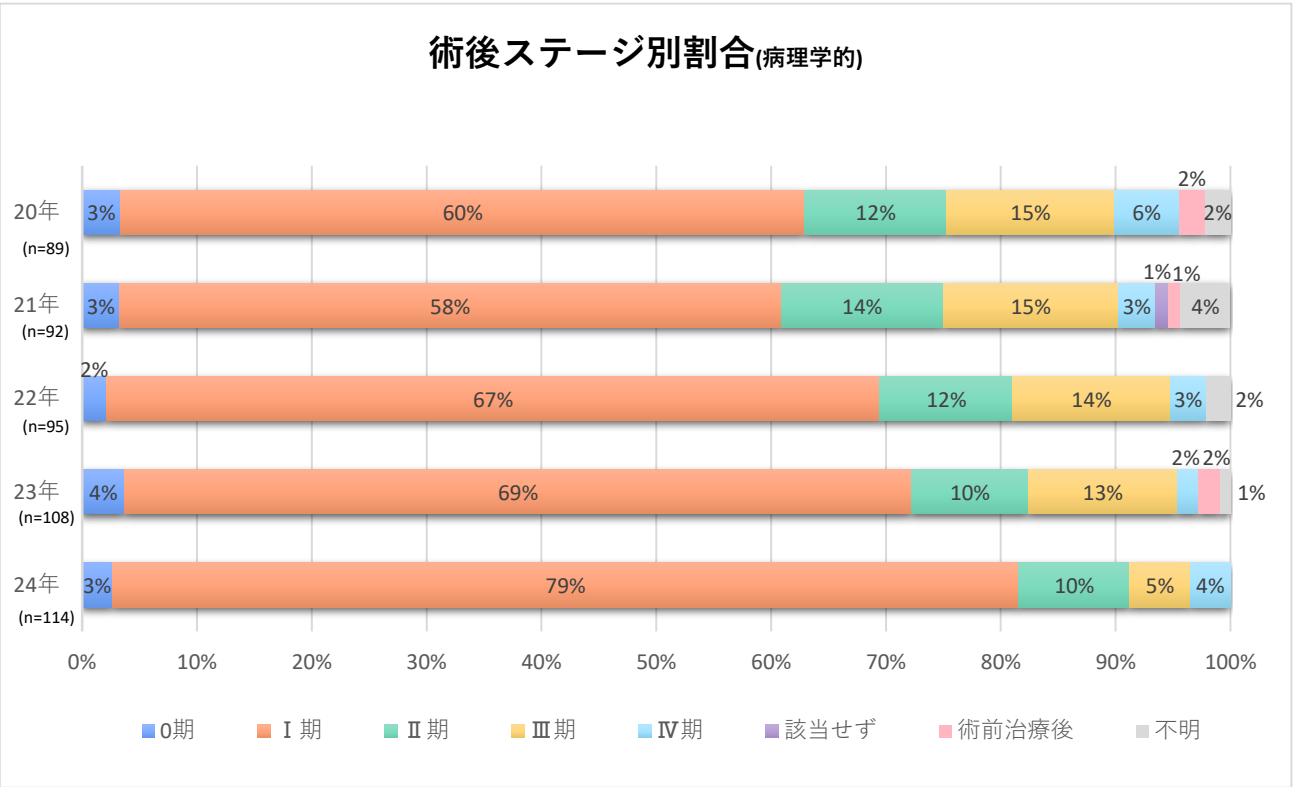
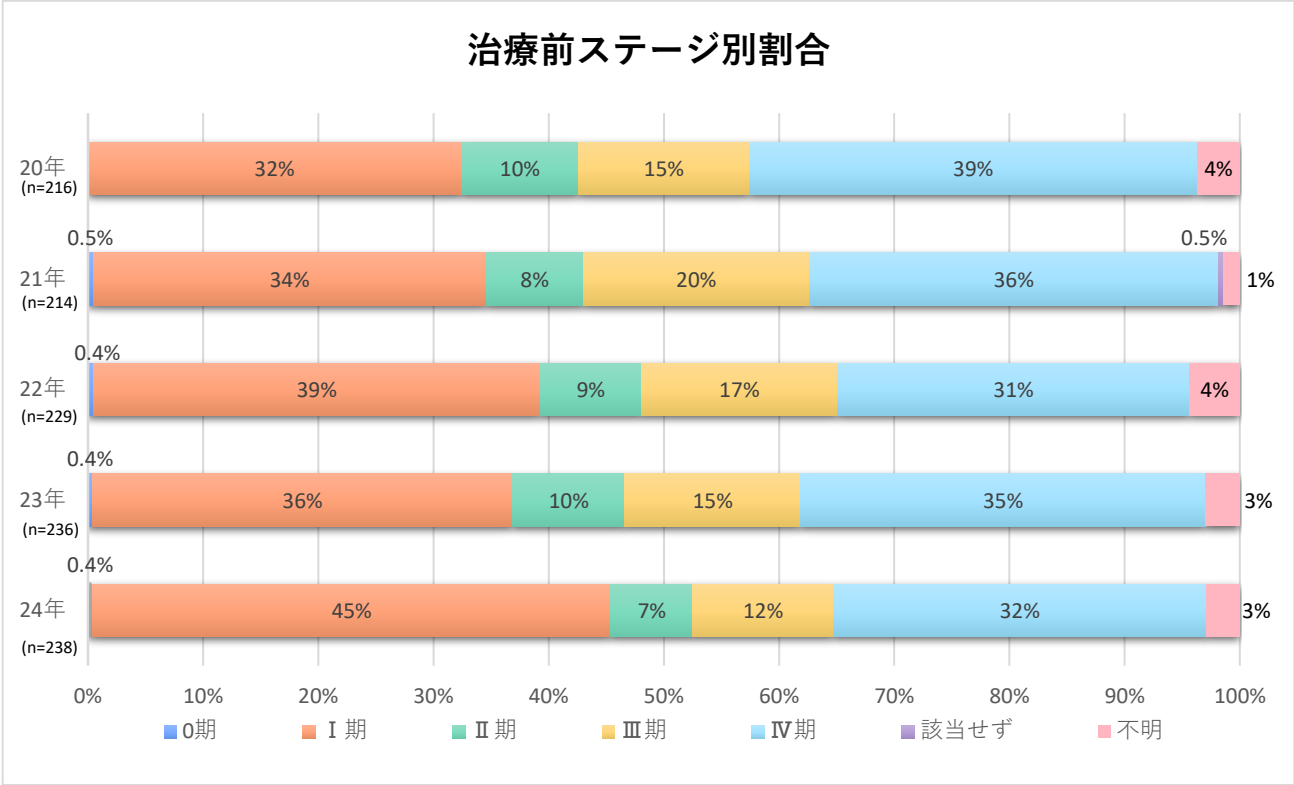
主な紹介先

施設名	20年	21年	22年	23年	24年
北海道大学病院	1	5	15	8	18
小樽市立病院	0	3	5	8	9
西成病院	6	7	9	5	8
札幌南三条病院	7	3	6	3	6
リラの杜 在宅クリニック	0	0	0	0	2

来院経路・発見経緯・症例区分について、直近5年の件数と24年単年の割合でグラフを作成した。
来院経路は「他院より紹介」、発見経緯は「他疾患経過観察中」、症例区分は「自院診断・自院治療開始」が最も多かった。



治療前・術後ステージ別割合について、直近5年間のデータでグラフを作成した。
治療前ステージ・術後ステージ共に「Ⅰ期」が24年に増加しており、直近5年間で最も多くなっていた。
※「該当せず」には、組織型がUICC第8版に該当しない症例が含まれる。
※「術前治療後」には、術前に化学療法や内分泌療法で病変を小さくしてから手術した症例が含まれる。



総合ステージ別に初回治療で実施した治療内容の割合について、24年単年で作成した。
0～Ⅱ期では「手術のみ」が最も多く、0期では100%を占めていた。
Ⅲ期では「薬物療法のみ」と「放射線+薬物」が同率で最も多く、Ⅳ期では「薬物療法のみ」が最も多かった。
※「治療なし」には、無症状や高齢である等の患者状態により、経過観察を選択する症例が該当する。

